

2022年度上半期を振り返って

今回は2022年度上半期の締め括りとして、上半期全体を振り返っての感想や、頑張ったことについて書いて頂きました。

～上半期の振り返り写真～



【オープンキャンパスの様子】



【全体ゼミ(Sグループ)の様子】



【レク表彰式の様子】

夏のインターンに行かなかったから、冬のインターンには絶対行こうと心に決め、結局ただの一度もインターンに行かずに迎えた春。就活に関する知識も経験もないまま、不安と焦燥感に狩られて就活を行った上半期であった。盛りに盛ったES。ノリと勢いと思い込みで挑んだ面接。下手な鉄砲も数撃ちや当たるといふところどころにエントリーしたが、勢いではどうにもならない面接もあった。インターンに行ってお金を積んでおくべきだったとつくづく後悔した。最終的には時の運が味方して、希望の企業から内定をもらう形で就職活動を終えられたが、準備の大切さを身に染みて感じた上半期であった。

執筆: 湊田 智彦

上半期、お疲れ様でした。ゼミはこれまでとは違いグループに分かれての発表だったため、それぞれ違った雰囲気でお互いを高め上げることができたのではないかと思います。先月の中間発表は、いつものゼミとはまた違う緊張感を持ち挑みました。質疑応答では、自分では理解している部分を簡潔にまとめて答えることの難しさや自分の研究を改めて考えさせられるものもあり、その後に活かしたいと思います。また、就活では、過去の自分と話し合い、自分を見つめ直す機会になったというのをよく耳にしておりましたが想像ができませんでした。しかし、実際に就活を通して自分がこれまで経験した物事のきっかけなどを考えることでやりたいことをじっくり考える良い時間になりました。

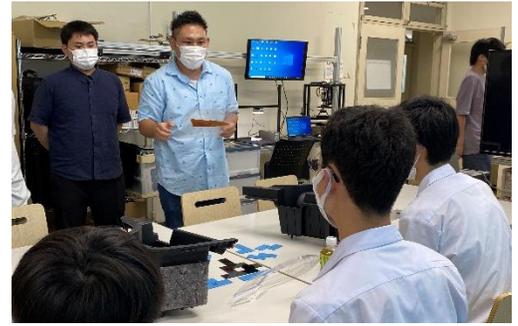
執筆: 山口 真琴



CPS研訪問アンケート

高校生訪問やオープンラボに参加して頂いた、学生や保護者の方に感想を伺いました。ご協力ありがとうございました！

- 空間認識が瞬時にできて良いと思いました。
- 間違い探しなどを、写真を使って解析しているのが凄かったです。
- 心拍数の話が面白かったです。海の生き物で心拍数が少ないと長生きだそうです。人間に例えても同じなのでしょうか？
- 楽しそうに研究していってるのが知れてよかったです。
- 面白い研究があり、勉強になりました。
- 短時間でしたが、興味深い研究でした。将来をより良くしてくださる**発想力豊かで若い力**を感じました。
- ITについて何も知らず、色々な言葉が出てきて難しかったですが、皆さんがプレゼンしている姿を見て、勝手に嬉しく、頼もしく思いました。



【当日の様子】

豆知識掲示板

研究室の皆さんの、読むと少し役に立つような豆知識を紹介します！

私はコロナが流行り出してから家にいる時間が増えたことでよく料理をするようになりました。私が頻繁に作る料理として天津飯があります。そこで天津飯にまつわる豆知識を紹介します。天津飯は中華料理ですが発祥は日本で、昭和の時代に中国の天津市から仕入れた米を炊き、その上に肉が入った卵を乗せた丼ものを「天津芙蓉蟹肉飯」と呼び、その言葉が短くなり、今の「天津飯」になったようです。また、地域によって餡の味が異なり、関西ではさっぱり系の醤油餡、関東では甘酸っぱい系の甘酢餡が主流みたいです。ぜひYouTubeで「リュウジ 天津飯」と調べて一番上に出てくる動画をもとに作ってみてください。分量を間違わなければおいしく作れます。

天津飯 谷口啓太



参考：<https://biteki-seikatu.com/gourmet/difference-of-tianjin-rice-in-kanto-and-kansai>

”10個のシンプルな原則”集 Yeoh先生

論文の図



論文の構成



文献レビュー



計算研究



皆さん、発表や卒論・修論を準備する時に、「どういう図・グラフを描けば良いか」や「構成をどうした方が分かりやすいか」や「特に何を注意するべきか」などを悩んだりしませんか。これらは生涯をかけて努力し、改善していくものと思いますが、経験者のアドバイスから理解を深められることもあります。PLOS Computational Biology誌の”10個のシンプルな原則”集 (<https://collections.plos.org/collection/ten-simple-rules/>) はそういう経験者のアドバイスの資源の一つです。自分が学生時代からすごく参考になったので、紹介・共有したいと思います。今まで千件以上あると思いますが、幾つか気になっている記事を左記のQRコードで共有するので、興味ある方は是非見てみてください。

シルミさんの母国インドネシアを知ろう

インドネシア(インドネシア共和国)は、Yeoh先生の母国のマレーシアやお隣のフィリピンの南方、オーストラリアの北方に位置し、赤道が国内を東西に貫いています。ジャワ島、ボルネオ島、スマトラ島といった大きな島から、バリ島などの小さな島々まであり、火山や地震、台風や洪水などの自然災害が多いところも日本とよく似ています。また、国民性も勤勉で、私が受け持った大学生たちはとても熱心でした。日本との時差は-2時間で、気候的には乾季と雨季があります。インドネシアではゲリラ豪雨がよくあるため、洪水による浸水(バンジール)が頻発します。首都は現在ジャワ島のジャカルタにありますが、現在は遷都が進んでいるようです。公用語は英語と人為的に作られたインドネシア語です。インドネシアでは島単位、地域単位、部族単位に系統がバラバラの言語があり、無理矢理「共通言語」を作ったそうです。マレー語も同じような理由で作られたため、マレー語とインドネシア語はとてもよく似ています。



インドネシアのフルーツ



ソト・アヤム(地鶏スープ)

画像引用:Wikipedia

食べ物的には、韓国やタイほどは辛くなく、素材の味を活かす面でも日本とよく似ています。辛さ調整には「サンバル」というゆず胡椒的な調味料で調整できるので、辛いのが苦手な人でも大丈夫。おすすめは南国のフルーツやナシゴレン(焼きめし)、ミーゴレン(焼きそば)、ソトアヤム(鶏のスープ)です。宗教的には、イスラム教、キリスト教、ヒンドゥ教(バリ島)とバラバラです。イスラム教は皆さんには馴染みがないかもしれませんが、(1)夜明けから就寝前まで1日に5回メッカに向けてお祈りを捧げる(金曜日のお昼は最も長い)、(2)日中の断食月(ラマダン)がある、(3)お酒や刺激物、食材や調理法に厳しいルール(ハラール)がある、(4)ヒジャブの着用など女性特有のルールがある…といった「自分の信仰に厳しい」ルールの宗教ですので、ラマダン時期の日中には目の前で飲食を控えるなど、私たちもほんのちょっとの心遣いはしましょう。インドネシアは、JICAの派遣専門家として何度となく訪れた国で、とても素敵な国です。コロナが落ち着いたら、ぜひ渡航してみてください。

執筆:奥村 浩

編集後記

こんにちは、広報係の河原です。今月号の背景の写真はススキです。今年度の上半期はいかがでしたか?今まで身に着けたことを活かして後半も頑張っていきましょう!まだまだ暑さが残りますが、季節の変わり目なので体調には充分気をつけてお過ごしください。

先月の研究室クイズの答え

ペットボトルのラベルをはがし軽く洗い、キャップを分別して捨てる
軽く洗い流すと匂いも残らず、掃除もしやすいですね。

今後も研究室の環境を整えて居心地の良い空間にしていきましょう!

今月の研究室クイズ

研究室での在籍管理はどのように行われたいでしょう?

次号の編集後記で答えを発表します。お楽しみに!

